

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 市内に産婦人科誘致を（10分）</p> <p>市内には、女性が出産できる医療機関がないことで、市民は周辺自治体などでの出産を余儀なくされ、かねてより産科開設を求める声が多く寄せられています。</p> <p>若い人たちの定住や「子育てするなら鶴ヶ島」と言えるまちにするためには、産みやすい環境、育てやすい環境を作ることは当然のことです。そこでお伺いいたします。</p> <p>(1) 出産される方の状況について (2) 近隣市の産科の状況について (3) 市の今までの取組について (4) 今後の方向性について</p>	市長
<p>2 病児、病後児保育の充実を（15分）</p> <p>鶴ヶ島市の保育サービスは、近隣の自治体に比べても大変進んでいると考えますが、若い世代の人口増を目指すには、これからは自治体間の競争が激しくなると考えます。そこで一歩でも、二歩でも進んだ取組が重要と考え、以下についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 近隣市の状況について (2) 現在までの取組状況について (3) 課題について (4) 今後のスケジュールについて</p>	市長
<p>3 学校週5日制の見直しについて（15分）</p> <p>私は平成26年9月、12月議会で学期制、土曜授業の導入について一般質問を行い、平成28年7月28日の政策説明会において、教育長より3学期制への変更について、前向きな説明を頂きました。</p> <p>さて、「脱ゆとり教育」を目指した新学習指導要領が完全実施され、学習内容や授業時間が大幅に増えた状況の中で、国民の意識レベルを考えれば、土曜授業の導入を中心に授業時間を確保することが、一番有力な選択肢であると考え、以下についてお伺いします。</p>	市長 教育委員会 教育長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(1) 国民の意識レベルでは、約8割の人が、学校週6日制に賛同しているが、教育委員会としての見解は。</p> <p>(2) 土曜授業を採用している保護者の声として、「無理に土曜を休み、平日を窮屈にして行事や部活の時間が削られるより、ゆとりがある」との意見がありますが、教育委員会としての見解は。</p> <p>(3) 週5日制により、生徒間での学力格差が広がっていると言われますが、教育委員会としての見解は。</p>	